



はたサポ通信バックナンバーはこちら→

発行：働き方改革サポートオフィス鳥取 〒680-0845鳥取県鳥取市富安1丁目152番地SGビル4F

TEL:0800-200-3295 (フリーダイヤル) FAX:0857-30-0351 MAIL:tottori@workstylereform.net



令和8年4月から治療と就業の両立支援が事業主の努力義務に

令和8年4月より、すべて事業主に対し、職場における治療と就業の両立を促進するため、必要な措置を講じる**努力義務**を課すとともに、厚生労働省では措置の適切・有効な実施を図るための指針を整備しました。



病気を治療しながら仕事をしている労働者は年々増加しています。厚生労働省によると、何らかの疾患により通院しながら働く労働者の割合は40.6%（令和4年）に上っており、高齢者の就労の増加や医療技術の進歩等を背景に、今後も増加が見込まれています。法改正を機に、疾病を抱える労働者のみならず、誰もが働きやすい職場環境づくりの整備に取り組んでみてはいかがでしょうか。対応にお困りの際は、お気軽にご相談ください。

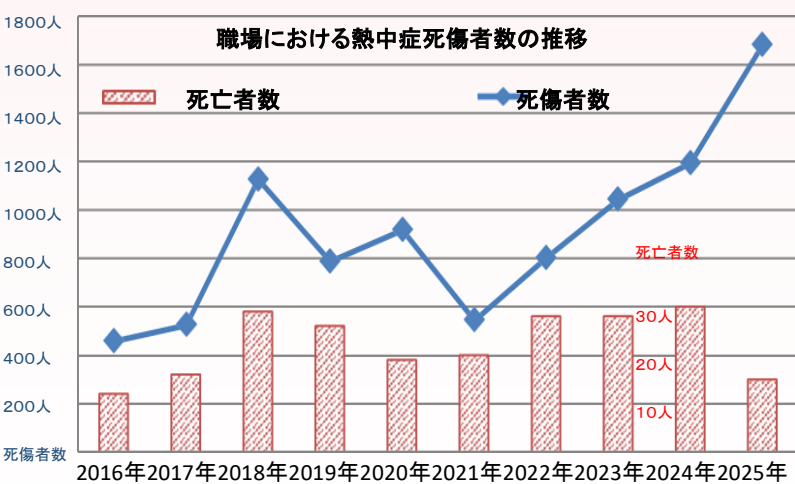


グラフは、厚生労働省統計情報白書より <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-21.html>



また暑い季節がやってまいりました。職場における熱中症対策は万全ですか

鳥取県では、今年の夏も猛暑になることが予想されます。労働安全衛生法で昨年より一定の条件を満たす作業を実施する事業者者に熱中症対策の実施が義務化され、同規則において、「事業者は、多量の発汗を伴う作業場においては、労働者に与えるために、塩及び飲料水を備えなければならない。」などの適切な措置を講ずるように罰則付きで規定されています。毎年5月から9月まで厚生労働省が行っている「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を参考にされてみてはいかがでしょうか。



2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
482	528	1,128	790	919	547	805	1,045	1,195	1,681
(12)	(16)	(29)	(26)	(19)	(20)	(28)	(28)	(30)	(15)

※上段数値は死傷者数 () 内の数値は死亡者数で内数
熱中症は、2025年に1,681人と、死傷者数について統計を取り始めた2005年以降、最多となりました。うち、死亡者数は、2024年同期比で50%減少しました。2025年の死傷者数1,681人について、業種別でみると、製造業が337人、建設業が278人の順で多くなっています。死亡者数については、15人のうち建設業が5人と最も多くなっており、次いで、警備業が2人となっています。

グラフは、厚生労働省 熱中症発生状況令和7年12月速報値より <https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/001662461.pdf>

厚生労働省ポータルサイト「学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報」 → → →

★編集後記★

これから暑さが本格化しますが、無理のないペースで過ごしていきたいですね。暑い日には、こまめな水分補給を忘れず体調管理はしっかりと！

